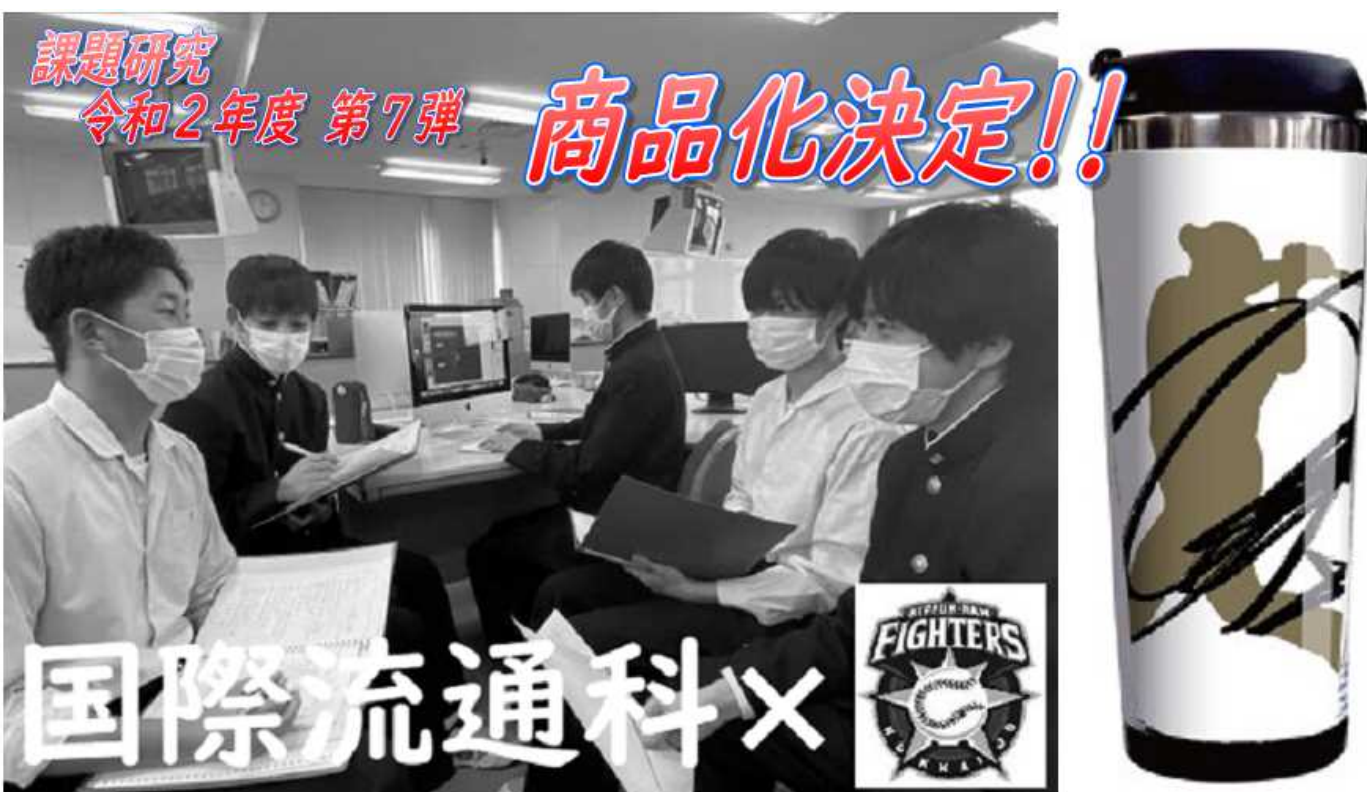


ああ担いて往かん

●挨拶・返事 ●言葉遣い ●身だしなみ ●笑顔 ●感謝 文責 大森 朗輝



北海道日本ハムファイターズでは、12月11日(金)より北海道千歳高等学校の学生が考えた地元高校生とのコラボグッズをオフィシャルオンラインストア、オフィシャルショップで受注販売いたします。

今回のコラボ企画は、校内調査などを元にした企画書をお送りいただいたことから始まりました。プロ野球ファンに楽しく使ってもらえるよう「試合観戦でも学校・職場でも使えるグッズ」をテーマに、お客様の使用場面をイメージしながら打ち合わせを重ねました。観戦でも日常でも使ってもらえるよう、100名以上に校内アンケートを実施しシンプルかつインパクトのあるデザインにするなど、高校生ならではの視点が詰まったコラボグッズです。

「初めての商品開発なので多くのお客様に購入していただきたいと思っています。中でも力を入れたのはタンブラーとトートバッグで、札幌ドーム観戦時に見たプラスチックゴミの多さから、日常使いしてもらおうことでプラスチックカップやレジ袋の使用を減らし環境問題に配慮できるグッズにしたいという思いを込めました。ぜひお買い求めください！」

企業の担当者様とオンライン会議を重ねて、ついに商品化が決まりました。上のコラムは株式会社日本ハムファイターズ広報部様が、各報道関係へ向けたものの一部抜粋となります。オンラインストア等での販売となりますので、詳しくは裏面で確認してください。

■タンブラー
学校や職場に温かい飲み物や冷たい飲み物を持ち運ぶ機会が増える学生や働く女性に便利なアイテム。タンブラーを使用することでプラスチックゴミの削減につながります。交換用台紙が付いており、色違いのデザインをお客様自身でカスタムしていただけるため、愛着のあるタンブラーになり試合観戦もより楽しくなります。

■トートバッグ
試合観戦時に応援グッズを入れられるトートバッグ。大きめサイズなのでレジ袋の代わりに買い物バッグとしてもご使用いただけます。球場で買い物をする時にも便利。

■サコッシュ
財布やスマートフォンなどの貴重品だけを持ち運べる軽量でコンパクトなサコッシュ。試合観戦時に席を立つ時や、ちょっとしたお出かけに使えるアイテムです。

■パスケース
通勤通学のマストアイテムであるパスケースです。試合観戦時には球場へ来る際のICカードやファンクラブ会員証入れに。

価格	タンブラー 各2,200円(税別) ※交換用台紙1枚つき トートバッグ 各2,500円(税別) サコッシュ 各2,500円(税別) パスケース 各1,200円(税別)		
受注期間	12月11日(金)12:00~12月22日(火)23:59 ※2021年1月28日(木)頃より順次発送予定です ※実店舗は各営業時間から		
販売場所	＜オフィシャルオンラインストア＞ https://shop.fighters.co.jp/shopping/ ＜オフィシャルショップON-DECK＞ 札幌市中央区北4条西4丁目1番地 伊藤・加藤ビル1F ＜オフィシャルショップCLUBHOUSE＞ 札幌市豊平区福住2条1丁目3番3号		

商品の写真等は株式会社日本ハムファイターズ様のプレスリリースより

課題研究本発表

12月中旬にクラス毎の発表を行い、各クラス上位の班が、1月に学年発表を行います。その中から選抜し、2月の流通科集会にて、1・2年生向けに発表します。

一年間をかけて調査研究をしてきましたので、各班とも気合い十分です。

さて、今年度の大学入試の推薦試験では、面接試験が急遽取りやめとなり書類での選考となったり、オンライン等での面接に切り替えたりと、想定外のことが多くなっています。自己PRのプレゼンを期限内に送信することになった大学もありました。

組	班	分類	研究テーマ
1	2	商品開発	免疫力を高める商品づくり
1	7	商品開発	千歳市の感染縮小化 ～足踏式消毒液ポンプの普及～
1	4	商品開発	かぼちョコタルト
1	5	調査研究	千歳の食べ歩きマップ
1	1	商品開発	苦手克服のきかけづくり
1	3	商品開発	千歳でとれる野菜を使った商品で千歳をPR
1	6	商品開発	ハスカップパンの開発
2	1	商品開発	地元で愛される名店を誰もが知る名店へ
2	7	調査研究	飲食店活性化計画 ～千歳の名店をみんなに知ってもらおう～
2	4	商品開発	おいもんぶらんの商品開発
2	9	調査研究・コンテスト	ハスカップドレッシング 魅惑の耳茸おにぎり
2	3	調査研究	障害を持つ方への関心を深め、誰もが生きやすい社会を作るために私たちができることを考案する
2	5	調査研究・コンテスト	地球を救うエコバッグ
2	2	商品開発	スポーツ企業の力になれる商品開発
2	6	調査研究	栄養管理表で食生活を改善
2	8	調査研究	プログラミングを用いて五目並べを制作する



課題研究の授業において中間発表という形でプレゼンの経験があったため、高校3年間の取り組みを効率よく発表でき志望校合格へとつながりました。